

医療費の増大の対策→

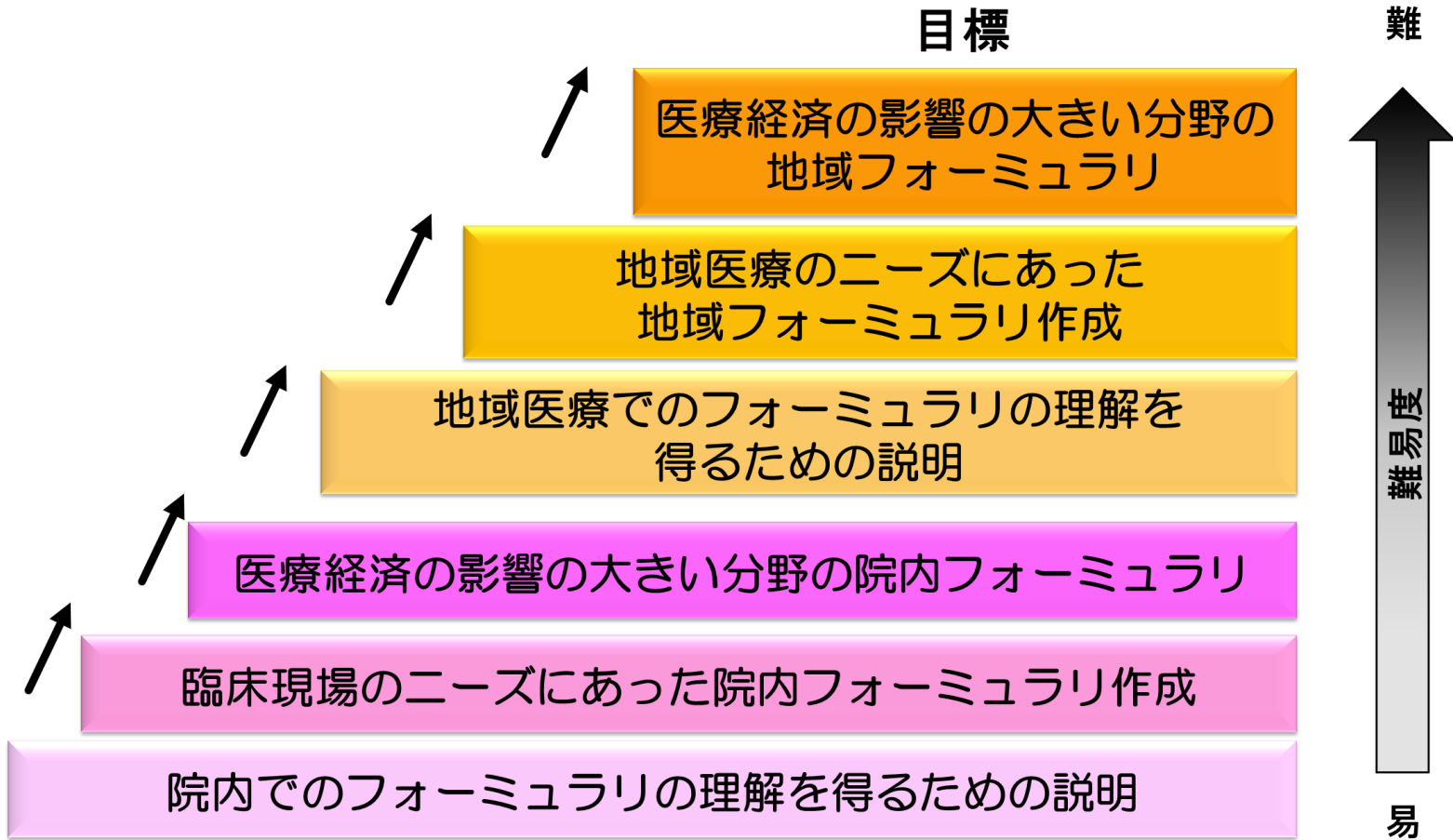
「地域フォーミュラリ」の活用
が望ましいとされています



難易度が高い

神戸市立西神戸医療センターでは、
まず院内フォーミュラリの導入を試みました

フォーミュラリ浸透のための段階的アプローチ



当院では、地域へのフォーミュラリ浸透のために、左図に示すような**段階的なアプローチ**を進めていくことを検討しました。

まずは院内でフォーミュラリの理解を得るための説明を行い、臨床現場のニーズにあったフォーミュラリの作成を行うことから取り組むことにしました。

薬剤師によるフォーミュラリ理解を得るための説明内容

- ▶ これから迎える超高齢化社会において医療費抑制の国策としてフォーミュラリが掲げられていること
- ▶ フォーミュラリとは、**有効性・安全性**だけではなく**経済性**も考慮した医薬品の使用指針であること
- ▶ 標準的な薬物治療の指針を作成することで非専門領域の医師にとっても統一のとれた薬剤選択が可能となり、医師の業務負担軽減の可能性があること
- ▶ 薬剤選択の指標であり、処方に対して絶対的な拘束力があるわけではないこと



フォーミュラリ作成メンバー

- ▶ 薬剤師レジデント
- ▶ フォーミュラリ担当薬剤師
- ▶ 各診療科病棟薬剤師
- ▶ 診療科医師等

フォーミュラリ作成の参考資料

- ▶ 添付文書
- ▶ 各種診療ガイドライン
- ▶ 日本フォーミュラリ学会モデル・フォーミュラリ
- ▶ Up To Date® (Wolters Kluwer)
- ▶ 関連文献・書籍
- ▶ 医薬品医療機器総合機構 (PMDA) の承認書類等



当院でのフォーミュラリ策定手順

臨床現場のニーズに基づいた
院内フォーミュラリの原案作成

専門領域の医師との協議・編集

薬事委員会での審議・承認
病院運営協議会での承認

院内メール送信
電子カルテより閲覧

当院ホームページで公開

薬剤部内カンファで案内
研修医オリエンテーション

薬価改定や安全性情報等入り
次第アップデート

推奨薬剤の選定
(有効性・安全性・経済性)

院内フォーミュラリ作成のプロセス

運用・周知・更新

フォーミュラリ導入後の感想

▶ 医師より

- **研修医教育**にも役立つ
- **非専門分野**でも**標準的な薬剤選択**ができる

▶ 病棟薬剤師より

- 問い合わせ時にフォーミュラリを参照することで**スムーズに提案**を行えるようになった
- **統一のとれた**提案が行えるようになった

▶ 薬剤師レジデントより

医師と直接協議することで**実臨床の使用方法**についても学ぶことができた

